平成22年１月29日

各　　位

会 社 名　太　洋　工　業　株　式　会　社
代表者名　代表取締役社長　細　江　美　則
（ＪＡＳＤＡＱ・コード：６６６３）
問合せ先
役職・氏名　取締役経営企画部長　阪　口　豊　彦
電　　話　０７３－４３１－６３１１

平成21年12月期の子会社株式評価損及び投資有価証券評価損並びに平成21年12月期業績予想の修正に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価あるいは実質価額が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成21年12月期において減損処理による子会社株式評価損及び投資有価証券評価損を計上する必要が生じましたのでお知らせいたします。また、これに伴い、当社は、本日開催の取締役会において、平成21年７月27日に公表した平成21年12月期の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．平成21年12月期第４四半期における子会社株式評価損及び投資有価証券評価損

	個別	連結
	百万円	百万円
（A）平成21年12月期第４四半期会計期間（平成21年９月21日から平成21年12月20日まで）の子会社株式評価損及び投資有価証券評価損の総額（＝イ－ロ）	178	65
（イ）平成21年12月期（平成20年12月21日から平成21年12月20日まで）の子会社株式評価損及び投資有価証券評価損の総額	178	65
（ロ）直前四半期（平成21年12月期第３四半期）累計期間（平成20年12月21日から平成21年９月20日まで）の子会社株式評価損及び投資有価証券評価損の総額	0	0

（注）１．四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
２．当社の決算期末は、12月20日であります。

・純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	個別	連結
	百万円	百万円
（B）平成20年12月期末の純資産額	3,994	4,031
（A／B×100）（%）	4.5	1.6
（イ／B×100）（%）	4.5	1.6
（C）最近５事業年度の経常利益の平均額	927	916
（A／C×100）（%）	19.2	7.2
（イ／C×100）（%）	19.3	7.2
（D）最近５事業年度の当期純利益の平均額	480	470
（A／D×100）（%）	37.2	14.0
（イ／D×100）（%）	37.2	14.0

（注）最近事業年度の経常利益及び当期純利益が10億円未満のため、経常利益額及び当期純利益額は、最近５事業年度の平均（赤字の事業年度は０として平均を計算）を記載しております。

２．子会社株式評価損及び投資有価証券評価損の内容

(1) 連結

平成21年12月期第４四半期において、投資有価証券評価損65百万円を特別損失に計上いたします。

(2) 個別

平成21年12月期第４四半期において、子会社株式評価損112百万円及び投資有価証券評価損65百万円を特別損失に計上いたします。

３．通期連結業績予想の修正等

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	１株当たり当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（Ａ）	3,594	△381	△395	△480	△82.18
今回修正（Ｂ）	3,363	△440	△421	△569	△97.35
増減額（Ｂ－Ａ）	△231	△58	△25	△88	－
増減率（％）	△6.4	－	－	－	－
ご参考：前期実績（平成20年12月期）	5,437	350	320	△95	△16.26

４．通期個別業績予想の修正等

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	１株当たり当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（Ａ）	3,513	△269	△275	△365	△62.44
今回修正（Ｂ）	3,313	△332	△305	△592	△101.26
増減額（Ｂ－Ａ）	△199	△63	△29	△227	－
増減率（％）	△5.7	－	－	－	－
ご参考：前期実績（平成20年12月期）	5,430	387	371	△25	△4.28

５．修正理由

通期連結業績予想については、第４四半期においても国内の個人消費の伸び悩み等によるＦＰＣ試作需要の絶対量の減少等により、売上高は前回予想を231百万円下回る3,363百万円（前年同期比38.2％減）、営業損益は前回予想より58百万円悪化の440百万円の損失（前年同期は350百万円の利益）、経常損益は前回予想より25百万円悪化の421百万円の損失（前年同期は320百万円の利益）をそれぞれ見込んでおります。当期純損益については、前述の理由に加えて、投資有価証券評価損等の特別損失の計上を行うとともに、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産56百万円の取り崩し等を行うことから、前回予想より88百万円悪化の569百万円の損失（前年同期は95百万円の損失）を見込んでおります。

通期個別業績予想については、通期連結業績予想の修正と同様の理由により、売上高は前回予想を199百万円下回る3,313百万円（前年同期比39.0％減）、営業損益は前回予想より63百万円悪化の332百万円の損失（前年同期は387百万円の利益）、経常損益は前回予想より29百万円悪化の305百万円の損失（前年同期は371百万円の利益）をそれぞれ見込んでおります。当期純損益については、通期連結業績予想の修正と同様の理由に加えて、子会社株式評価損等の特別損失の計上を行うことから、前回予想より227百万円悪化の592百万円の損失（前年同期は25百万円の損失）を見込んでおります。

６．平成21年12月期配当予想

配当金については、平成21年７月27日に公表した平成21年12月期配当予想の変更はなく、期末に１株当たり７円50銭の配当（年間配当金７円50銭）を行う予定であります。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以　上